

琉球国王より蘇門答刺国あて、巴那仕古等を遣わして速やかな交易を請う咨（一四六八、八、一五）

一、差わす正使 巴那仕古  
副使 魏古 沈満志礼  
通事 紅英 田春

琉球国王、謹んで蘇門答刺国王に咨す。

嘗て聞くに交通して則ち礼義興り、互易して財用足る。此れを舍つれば、何を以て之を先務と為さんや。近ごろ貴国の富庶、万物の豊隆を見るに、何ぞ徳化の致与する所に非ざるは莫けんや。旧歳、遣使し薄礼を齎捧して詣見せしむるに、重ねて厚愛を蒙り感徳して勝えず。

茲に特に正使巴那仕古を遣わし、通事紅英等と共に人船を管駕し、咨文・礼物を齎馳して酬献せしむ。伏して希わくは、賢王殿下、海納すれば是れ幸いなり。仍お乞う、来船を寛容し早やかに貿易し回帰するを賜わんことを。永く往来を通じ金石の盟好あらしむれば便益なるに庶からん。須らく咨に至るべき者なり。

今礼物を開す

各色段五匹 青段二十四

腰刀五把 扇三十把

大青盤二十個 小青盤四百個

青碗二千個

右、蘇門答刺国に咨す

成化四年（一四六八）八月十五日

注（一）旧歳、遣使（四一〇）の遣使をさす。

## 1-41-14

琉球国王より滿刺加国あて、阿普斯等を遣わして速やかな交易を請う咨（一四六九、八、一五）

琉球国王、滿刺加国王殿下に移咨す。

恭んで審らかにするに、賢王の福祿の増々崇きは自ら天、之を祐く。曷んぞ欣羨に勝えん。且つ敵邦と貴国と、聘問往来し歳時貿易して未だ嘗て聞或らず。交隣を善くするに非ざれば、其れ能く然らんや。今復た正使阿普斯・通事林昌を遣わし、咨文並びに礼物を齎し聘を致さしむ。交通は惟だ自ら其の宜を得るのみに非ずして、抑も且つ其の利を兩便にす。贅語なれども以て聞す。鑑納するを幸惟う。其の来船に亦た微貨有り。乞う、概管をして早やかに貿易を与さしめんことを。風に趁り回還すれば利便ならん。須らく咨に至るべき者なり。

今礼物を開す